左京区の健康課題と事業取組について

令和４年度左京区地域保健推進協議会資料

資料２

左京区の概況

- 京都市の東北部に位置し、南北に長い約247㎢に及ぶ区域には、北部の山間地域から南部の市街地まで多くの個性豊かな地域があり、8万5千世帯、16万4千人の区民が暮らしている。
- 区内には、京都市美術館、ロームシアター京都、みやこめっせ、京都コンサートホールなどの文化施設や、世界遺産の下鴨神社、銀閣寺をはじめとする有名な寺社仏閣、史跡等も数多くある。
- 区内には6大学があり、全市の中でも20歳から24歳の人口割合が多いことから（令和3年10月推計）、「大学のまち左京」と言われる。特に南部は学生が多い。
- 外国人住民基本台帳人口は7,604人（令和4年7月1日現在）で、全市のなかで2番目に多く、様々な国の出身者が居住している。（京都市統計ポータル）

健康長寿推進課の業務

がん検診・健康づくり・感染症・ひきこもり支援

がん検診関連

【区役所で実施】

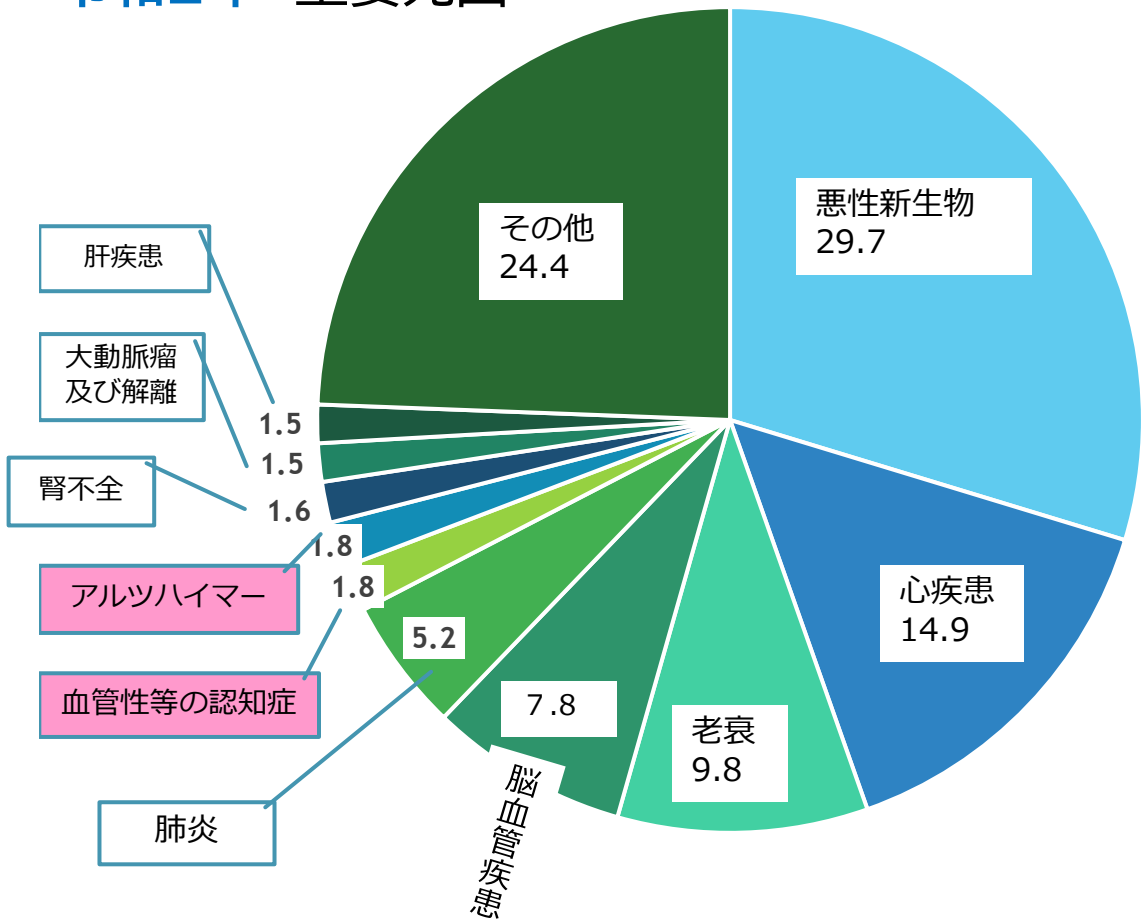
- 肺がん検診は、月３回実施。（第1・2水曜日の午前、第3水曜日の午後）
- 大腸がん検診は、週2回受付（水・金曜の９時～１１時受付）
- 乳がん検診・胃がん検診は、区役所に検診車が配車されて実施
- 精密検査未受診者勧奨

【指定医療機関で実施】

- 胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がん検診

がん検診関連（グラフ）

令和2年　主要死因



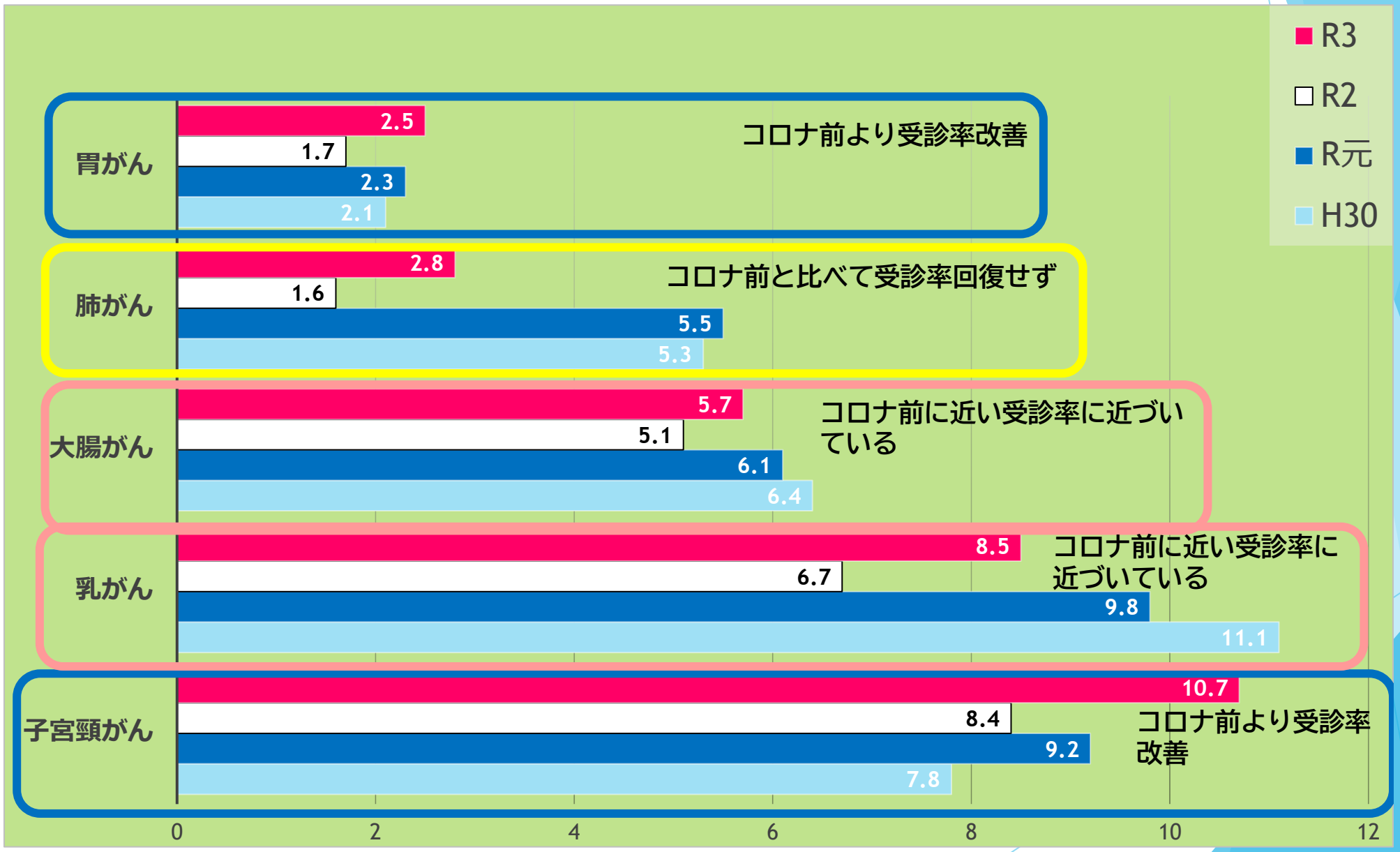
令和3年度　京都市がん検診受診率

＊単位：%　（　）は前年度値

＊黄色は市平均以下の項目を示す

検診項目	対象年齢	市平均	左京	市内順位
胃がん検診	50歳以上2年に1回	2.3(1.7)	2.5(1.7)	4位
胃がんリスク層別化（ピロリ菌抗体検査等）	40・45・50・55・60・65歳1回のみ	1.2(1.1)	1.2(1.1)	6位
肺がん検診	40歳以上年1回	3.1(2.1)	2.8(1.6)	8位
大腸がん検診	40歳以上年1回	4.7(4.2)	5.7(5.1)	2位
前立腺がん検診	50歳以上2年に1回	4.7(3.9)	7.3(7.2)	1位
子宮頸がん検診	20歳以上2年に1回	12.1(9.7)	10.7(8.4)	8位
乳がん検診	40歳以上2年に1回	9.0(8.3)	8.5(6.7)	7位

がん検診受診率の推移（H30～R3）



左京区における健康課題（がん検診）

- 令和3年度左京区がん検診受診率は、すべての項目で令和2年度（新型コロナ発生初年度）より受診率は改善した。

ただし、肺がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診が市平均よりも受診率が低い。

- 過去4年間のがん検診受診率の推移から、令和3年度の「胃がん検診」「子宮頸がん検診」は新型コロナが発生する前の令和元年度より高くなっている。

「大腸がん検診」「乳がん検診」も令和元年度に近づく形で回復してきているが、「肺がん検診」の受診率だけが前年度よりは改善しているものの伸び悩んでいる。

（受診率は1.6→2.8%へ、市内最下位から8位には改善）

↓　↓　↓

すべてのがん検診受診率を底上げしていくような取組が必要である。

健康づくり事業

【区役所で実施】

- 左京区独自の健康づくり事業の企画・運営
- 地域健康づくりグループ育成
  （養成講座・さくらちゃん体操、スキルアップ講座等）
- 禁煙相談・禁煙指導
- 健康づくり出前教室（保健師・歯科衛生士・管理栄養士）
- 栄養
  食育セミナー（食事バランス・野菜摂取・減塩等）
- 歯科
  ○成人・妊婦歯科相談・口腔機能相談
  →対象は市内在住の妊産婦及び、18歳以上の方。65歳以上の方には、口腔機能相談も行っている。
  ○歯のひろば・オーラルフレイル予防教室等

健康づくり事業の課題

- １　がん検診からの課題→がん検診受診率を向上させる取組の必要性

- ２　健康に関心のある層と、関心が薄い層との格差がある
  →関心の薄い層に健康意識を持ってもらう取組の必要性

- ３　働き世代や子育て世代へのアプローチの難しさ
  →休日に事業企画するなど、参加しやすい取組の検討

- ４　６大学を有する「大学のまち左京」で、５歳毎の人口では２０～２４歳の割合が最も多い。学生は朝食欠食・生活習慣の乱れなどの課題あり
  →大学生への啓発で、若い時から健康意識の醸成を図る取組の必要性

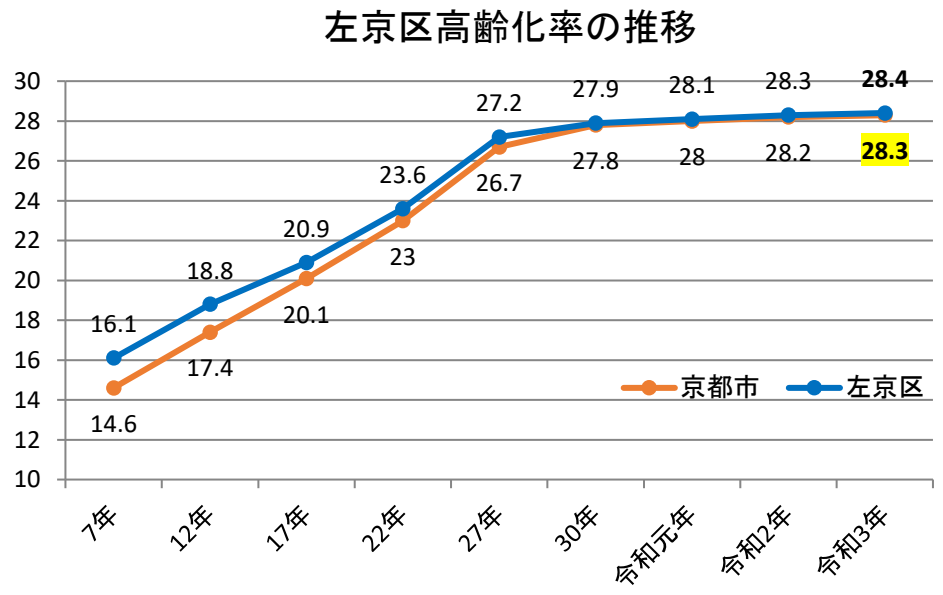
健康づくり事業の課題

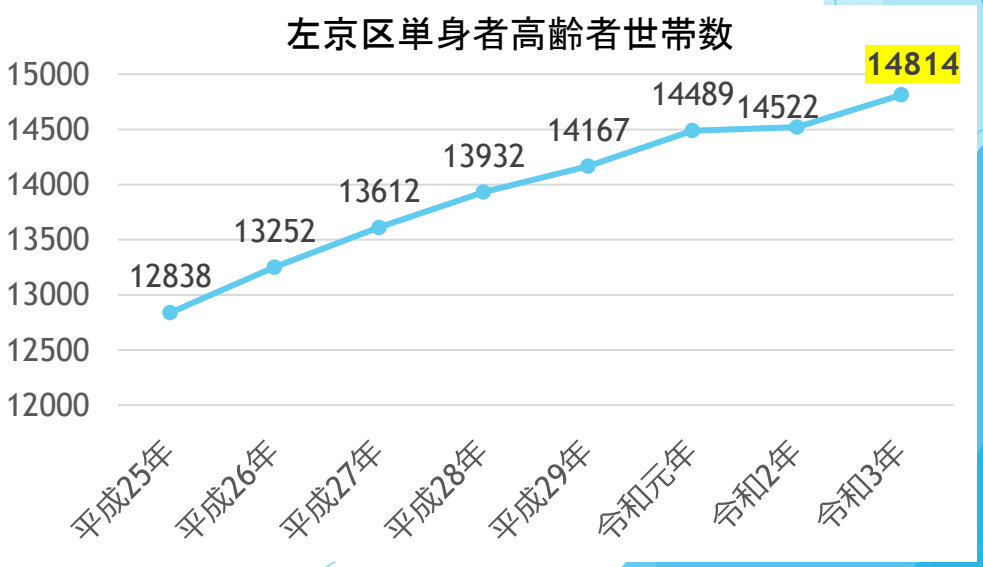
▶ 5　左京区の高齢化の現状

令和3年度の左京区の高齢化率は28.3%で全区役所・支所中7番目に高く、上昇傾向にある。

平成27年度は65歳以上人口のうち75歳以上人口（後期高齢者）の占める割合が49.8%であったが、令和3年度では54.3%と増加しており、団塊の世代が75歳以上になる令和７年度以降はさらに増加すると思われる。また、一人暮らしの高齢者の数が年々上昇傾向にある。

→今後、認知症高齢者や一人暮らしの高齢者の増加が見込まれ、要支援・要介護出現率の上昇が予想される。





令和４年度 健康づくり事業

Sa!Kyo! さぁ！今日から健康づくり～アクションプラン～内容

全世代対象

- 左京・健康なまちづくりコンテスト「健康川柳」
- 左京・健康パワーアップ大作戦！
  ～健康チェックしませんか～
- 土曜日同時開催
  「歯科相談＋胸部検診＋育児・妊婦相談」
- 歯のひろば
- 地域出張型健康づくり普及啓発
  （成人・妊婦歯科相談，資格職による出前教室）

40歳～

- さくらちゃん体操ひろば
- お口とからだのフレイル予防教室
- 左京・からだの学校ＯＢ会支援

20歳～

- 受けよう！がん検診
  ～あんしん&早期発見～
- 左京健康講座２０２２

18歳～

- 胸部検診の場を活用した禁煙支援
- 食育セミナー
  （食事バランス，野菜摂取，減塩）

- 大学生の健康課題・ニーズの調査
  及び健康づくり事業の展開

全世代対象

- 左京・健康なまちづくりコンテスト「川柳」
- 左京・健康パワーアップ大作戦！
  ～健康チェックしませんか～（2・3月予定）
- 日曜日同時開催
  歯科相談＋胸部検診＋育児・妊婦相談
- 歯のひろば（中止）
- 地域出張型健康づくり普及啓発
  （成人・妊婦歯科相談，資格職による出前教室）

＊事業のうち実施済と予定しているものを紹介

令和４年度　健康づくり取組事業（普及啓発）

第６回左京・健康なまちづくりコンテスト　健康川柳

●健康づくりの川柳を募集
テーマ　一般の部:「+10から始める健康習慣」
　　子どもの部:「健康」に関係する川柳

●応募数（応募期間：令和4年4月26日～7月29日）
一般の部　：応募者　75名　205作品

子どもの部：応募者197名　426作品

日曜同時開催　歯科相談・胸部検診・育児妊婦相談

健康長寿推進課×子どもはぐくみ室コラボ事業

日　時　令和４年１１月１３日（日）
場　所　左京区役所　３階
内　容
　ア　歯 科 相 談 ：０歳以上対象
　　歯科医師等による歯とお口の健康相談
　イ　肺がん・結核検診：４０歳以上対象
　　胸部レントゲン検査
　ウ　育児・妊婦相談：未就学児の親，妊婦対象
　　保健師による育児相談，計測

令和４年度　健康づくり取組事業（普及啓発）

地域出張型健康づくり普及啓発

令和４年６月13日
子育てサロン・ド・浄楽
ほっぺくらぶ(白川児童館)
「乳幼児の歯科指導について」
歯科衛生士による講話
参加４名

令和４年9月14日
岩倉北すこやかサロン
(学区社協･岩倉小学校)
「オーラルフレイルについて」
歯科衛生士による講話とお口の
体操
参加１９名

令和４年５月19日
吉田子育てひろば
すくすくサロン(吉田児童館)
「赤ちゃんの歯とお口の健康」
歯科衛生士による講話
参加６名

令和４年９月29日
高野児童館子育て講座
「乳幼児期の歯の発達と口腔ケアについて」
歯科衛生士による講話
参加１２名

令和４年６月３日
高野児童館子育て講座
「はっ！とする歯のはなし～守
りたい子どもの歯～」
歯科衛生士による講話
参加１２名

令和４年６月21日・７月７日
北白川児童館
「乳幼児の歯について」
歯科衛生士による講話
参加２名・６名

令和４年10月７日
成人妊婦歯科相談
（高野児童館利用の子育て中の保護
者対象）
歯科医師による歯科健診
歯科衛生士による保健指導
参加４名

４０歳～対象

- ●さくらちゃん体操ひろば
- ●お口とからだのフレイル予防教室
- ●左京・からだの学校ＯＢ会支援

＊事業のうち実施済と予定しているものを紹介

令和４年度　健康づくり取組事業（フレイル予防・対策）

さくらちゃん体操ひろば

「左京さくらちゃん体操」
市民ボランティアである健康づくりサポーター『にっこり元気左ポーターズ』が、保健福祉センターとともに、健康運動指導士の協力のもと考案したオリジナル体操。

毎週水曜日14:00~
左京区役所・先着15名
※新型コロナにより
R4.1.18~の休止期間を
経て4.20より再開
参加のべ127人
（R4.9月末現在）

お口と体のフレイル予防教室

令和４年8月26日
「コロナに負けるな!!
お口の健康増進体操」
歯科医院・老人福祉センター・区役所などオンラインで結び講話・お口の体操など
参加２３名

左京・からだの学校ＯＢ会支援

令和４年5月23日
出前教室
（3期生OB会）
「健康長寿をのばしましょう～血管年齢測定～」
参加２３名

令和４年9月12日
(3期生OB会)
「太極拳・学習と体験会」
講師：からだの学校1期生
中川氏
協力：区地域介護予防推進センター
参加２１名

２０歳～対象

●受けよう！がん検診
～あんしん&早期発見～

●左京健康講座２０２２

＊事業のうち実施済みと予定しているものを紹介

令和４年度　健康づくり取組事業（がん検診普及・啓発）

受けようがん検診　あんしん&早期発見

期間：令和４年５月中旬より実施～

左京区役所の肺がん検診（胸部エックス線検査）のご案内

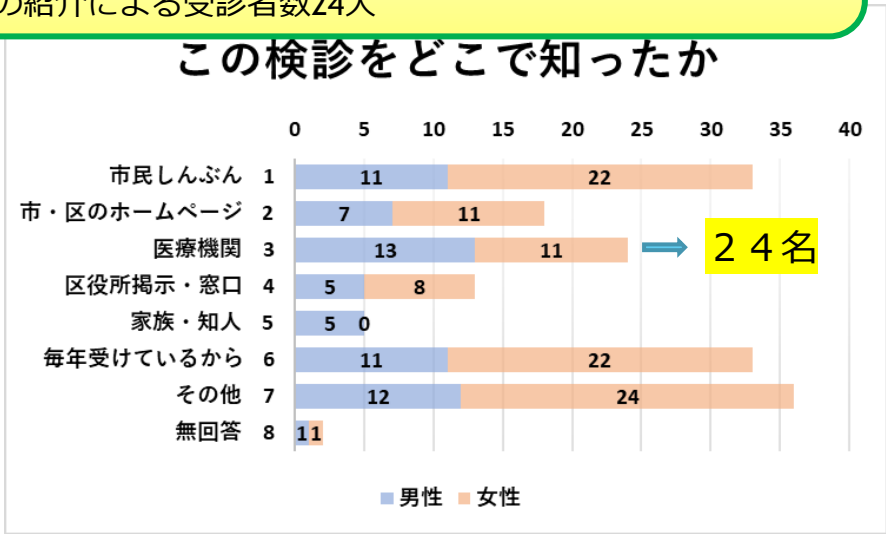
対　　象：４０歳以上（受診年の１２月３１日時点）の市民
費　　用：無料
（※診断書など，検診結果の証明書は発行できません。）
検診場所：左京区役所（要予約）
実 施 日：毎月第１～第３　水曜日（祝日は実施しません）
受付時間：第１・２（水）：９：００～１０：３０
第　３　（水）：１３：３０～１５：００
【第４水曜日は実施しません。】
申し込み：下記の問合せ先までご予約ください。

令和３年４月から，事前予約制になり，対象年齢も４０歳以上になりました。

※京都市内の他の区役所・支所でも実施しています。実施日時など詳細はお問い合わせください。
※新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては，検診を中止する場合があります。
※体調が思わしくない時は，受診をご遠慮ください。

京都市特定健診・後期高齢者健診の協力医療機関**９６か所**に、肺がん検診の案内チラシを送付し検診受診者に周知を依頼。

※R4.9月現在の胸部検診受診者数172人のうち、医療機関からの紹介による受診者数24人



左京・健康講座２０２２

日時：令和４年１０月２０日（木）

令和４年１０月２０日
講演「がん検診による早期発見が重要です」
～日本人に急増している大腸がんを知ろう～
会場：区役所・京都教育文化センター・zoomのハイブリッド
内容：専門医の講演、がん患者の療養生活について、京都市のがん検診の紹介、左京区在宅医療介護連携支援センターの事業紹介
参加者：来場者４１名、オンライン９名

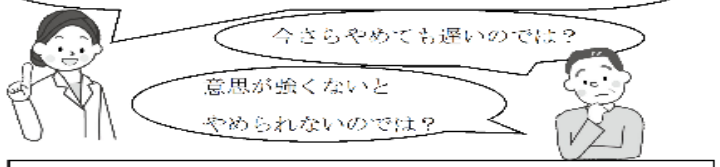
１８歳～対象

- ●胸部検診の場を活用した短時間禁煙支援
- ●食育セミナー（食事バランス，野菜摂取，減塩）

＊事業のうち実施済みと予定しているものを紹介

令和４年度　健康づくり取組事業で実施したもの

胸部検診の場を活用した禁煙支援



たばこをやめられないのは，ニコチンに依存した状態になっていることがあるからで，「意思が弱い」からではありません。禁煙をスタートしてからのいらいらや吸いたいなという気持ちに対して，禁煙外来や禁煙補助薬をうまく使って禁煙を続けるのも「より確実な」「より楽な」対処方法です。また，禁煙に「今さら遅い」はありません。いつから実行してもあなたの健康をプラス方向に導いてくれます。

このたび，面接をお受けいただいた皆様には，アンケートのご回答をお願いしています。
令和　年　月ごろ，郵送にて送付します。
ご協力をよろしくお願いいたします。

（お問合せ先）左京区役所健康長寿推進課
ＴＥＬ　０７５－７０２－１２１９

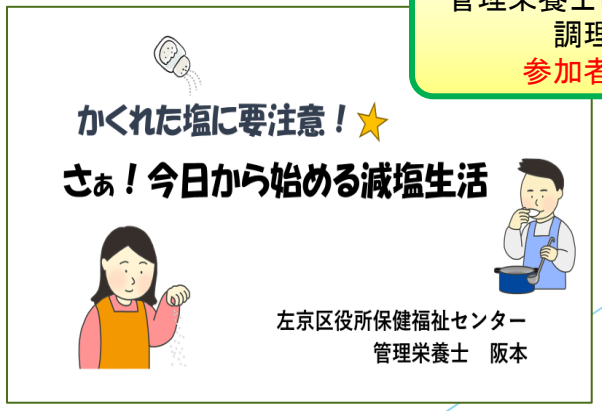
短時間禁煙支援
実施件数5人（R4.9現在）
支援3か月後にアンケート調査を実施し、支援の効果を評価予定

食育セミナー

６月７日「そうだ！野菜とろう！」
９月２９日「減塩」
１１月「ワンパンクッキング」
１２月「ワンパンクッキング」
２月「防災クッキング」

管理栄養士による講話と展示食
参加者１２名

管理栄養士による講話と調理実習
参加者１０名



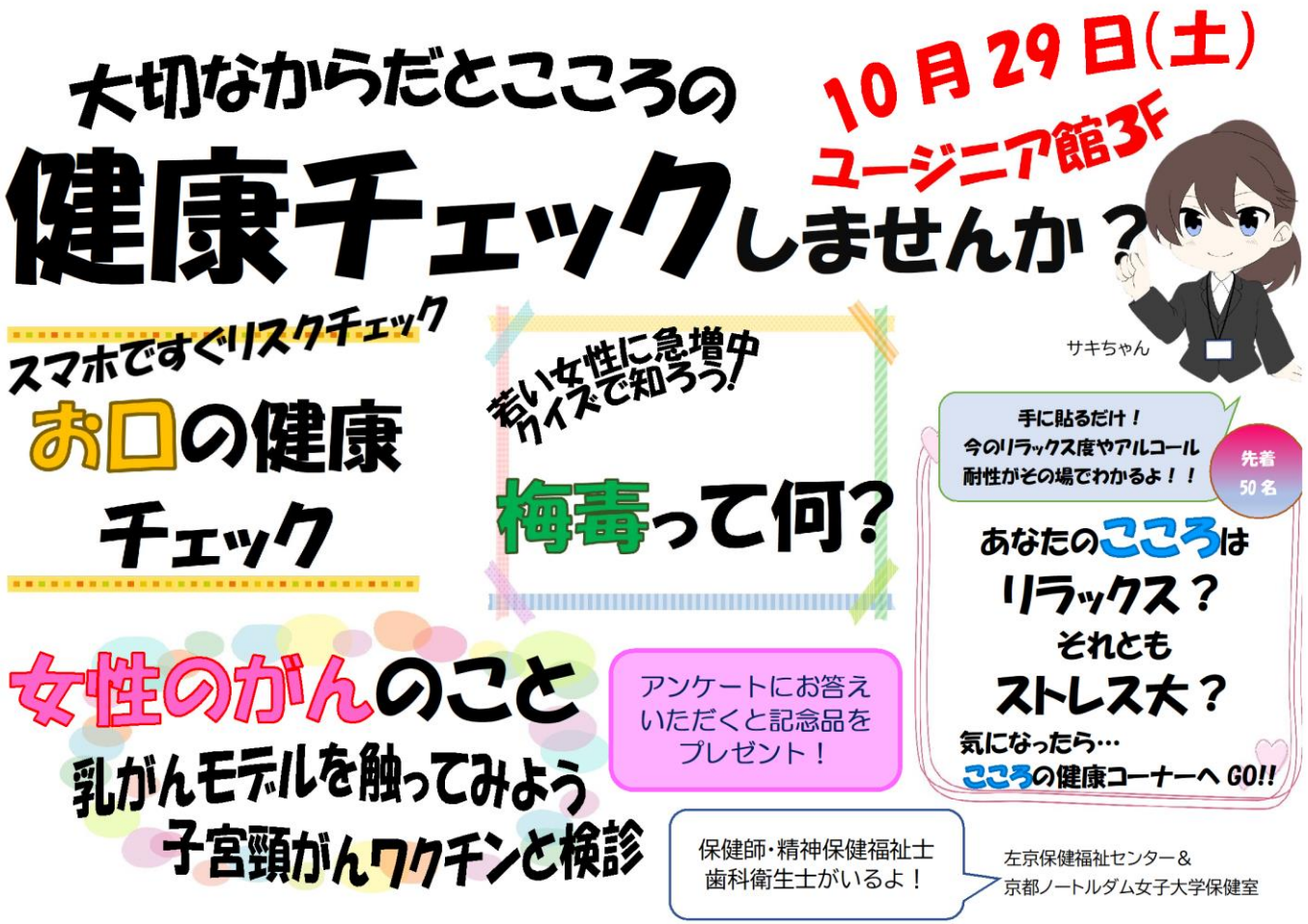
●区内６大学へ
学生の健康課題・ニーズの調査

＊事業のうち実施済みと予定しているものを紹介

令和４年度　健康づくり取組事業で実施したもの

大学生の健康づくり

Ｒ４年１０月２９日
京都ノートルダム女子大学学園祭 ND祭
健康長寿推進課×障害保健福祉課コラボ事業



「健康チェック＆体験＆情報コーナー」
- アプリでお口の健康チェック
- 乳がん自己触診体験
- 子宮頸がんワクチンと検診
- 梅毒と性感染症
- メンタルヘルス

派遣職員：健康長寿推進課保健師、障害保健福祉課保健師、歯科衛生士、看護師

区で対応している感染症の健康課題

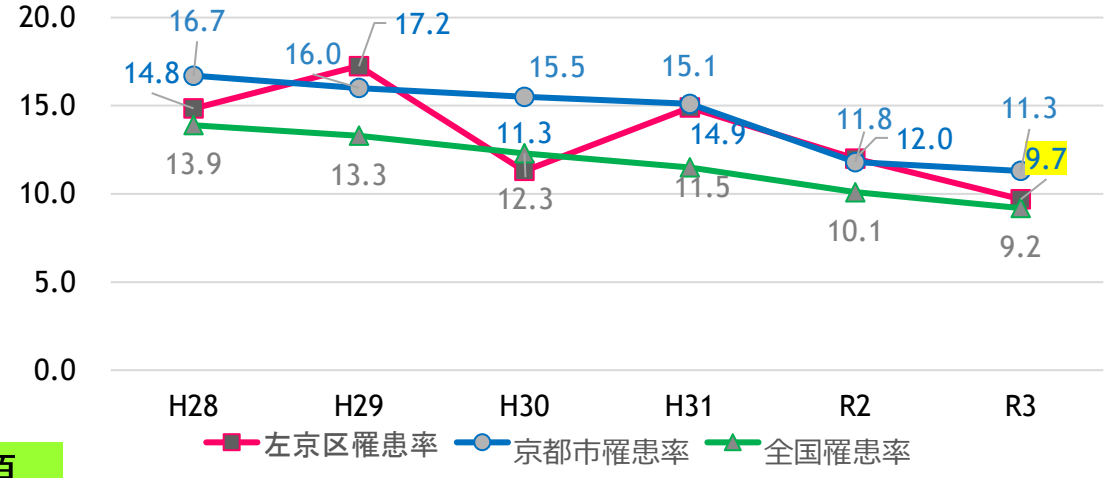
○結核

患者：16名、潜在性結核感染症6名発生

罹患率が9．7、塗抹陽性罹患率2．4と低減傾向にある。

＊（参考）令和3年の日本の結核罹患率は初の「低まん延国（罹患率10以下）」となった。

結核罹患率の推移



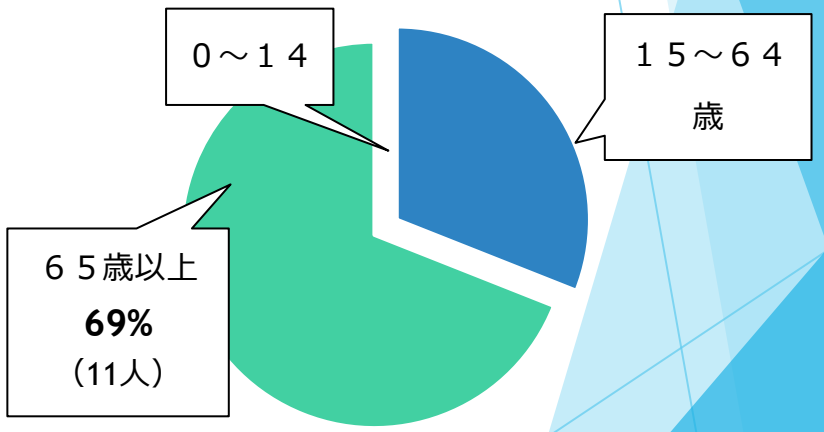
○結核以外の感染症

・感染性胃腸炎：6施設（保育園・幼稚園）

・食事付学生マンションでノロウイルスが原因の集団食中毒が発生。

→感染性胃腸炎のまん延防止の指導実施

令和３年　結核発生届年齢別罹患率

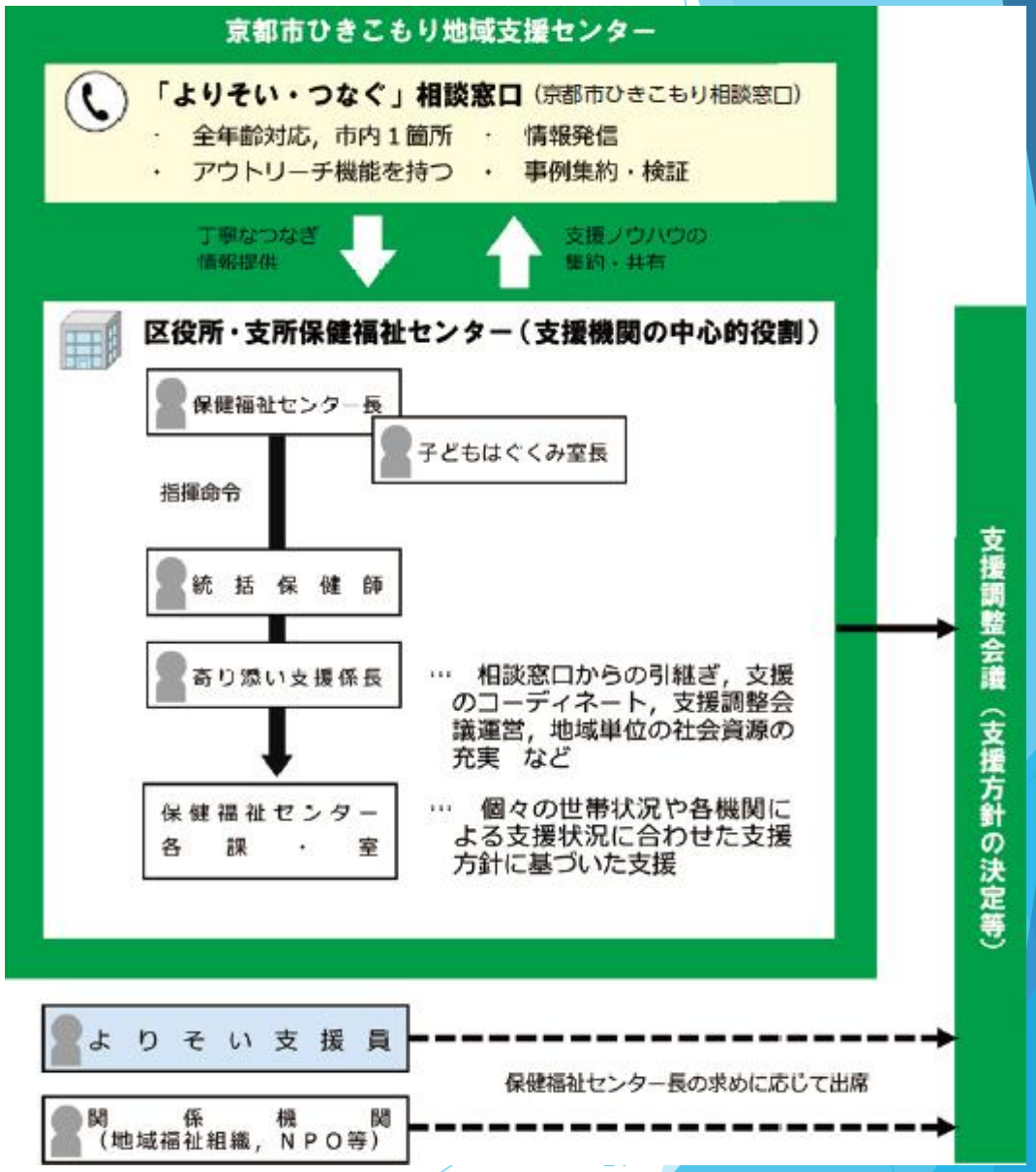


課題

高齢者は、結核菌に感染している率が高く発病リスクがあるが、症状が現れないことも多いため、発見の遅れにつながりやすい。排菌する前に発見することで、本人の治療への負担や周囲へのまん延防止につながる。
そのため胸部検診の定着や，高齢者施設などへの普及啓発が大切である。

京都市のひきこもり支援

- 令和２年８月に京都市のひきこもり支援が再構築され、全年齢型の窓口である京都市ひきこもり相談窓口（「よりそい・つなぐ」相談窓口）が設置されるとともに、区役所・支所保健福祉センターに寄り添い支援係長が配置され、また京都市社会福祉協議会に制度の狭間のケースを伴走型で支援するよりそい支援員が新たに配置された。
- 「よりそい・つなぐ」相談窓口や区役所・支所保健福祉センター等で相談を受けたケースのうち、情報共有や支援方針、役割分担等について協議が必要なものは支援調整会議に諮られ、保健福祉センターと関係機関等が連携して支援を実施している。



左京区における相談・支援の状況

令和２年８月～令和４年１０月までの実績

	相談件数	相談件数のうち 支援調整会議に諮ったケース	支援調整会議に諮ったケースのうち 支援対象としたケース（終結ケース）
ひきこもり相談窓口からの引継ぎ	３件	３件	３件 （０件）
保健福祉センター内からの相談	１２件	３件	２件 （１件）
関係機関からの相談	９件	２件	２件 （１件）
市民からの相談	６件	０件	０件 （０件）

事例１　２０代女性　よりそい支援員による伴走型支援により、短時間就労を開始。
現在は単身生活を視野に入れながら、週２回のアルバイト就労を続けている。

事例２　４０代男性　CMからの相談により支援を開始した８０５０世帯。身体状況及び困窮状況悪化がみられたため、健康保険証を再発行し医療機関を受診。その後生活保護を申請し、転居により終結となる。

ひきこもり支援の課題

- 支援の手法が確立していない　終結の判断が難しい
- 家族支援の充実
- 地域におけるネットワークの構築
- ひきこもり支援センターの認知度向上

障害保健福祉課の業務

精神保健福祉・難病支援

精神保健福祉

- 精神障害者保健福祉手帳の交付
- 自立支援医療（精神通院）の申請受付
- 精神保健福祉相談

  第1~4週の月曜日13:30~15:30　精神科医と精神保健福祉相談員による面接
- 地域生活安定化支援事業

  精神障害のある方の社会復帰、自立を進めるため、月１回程度デイケアを実施。
- 家族懇談会
- こころのふれあいネットワーク事業

難病患者支援

- 特定医療費助成

  指定難病（338疾病）で一定の認定基準を満たしている方に対して、その治療に掛かる医療費の一部助成を行う。
- 難病対策事業

  在宅療養支援計画策定・重症難病一時入院事業・生活機器貸出事業等

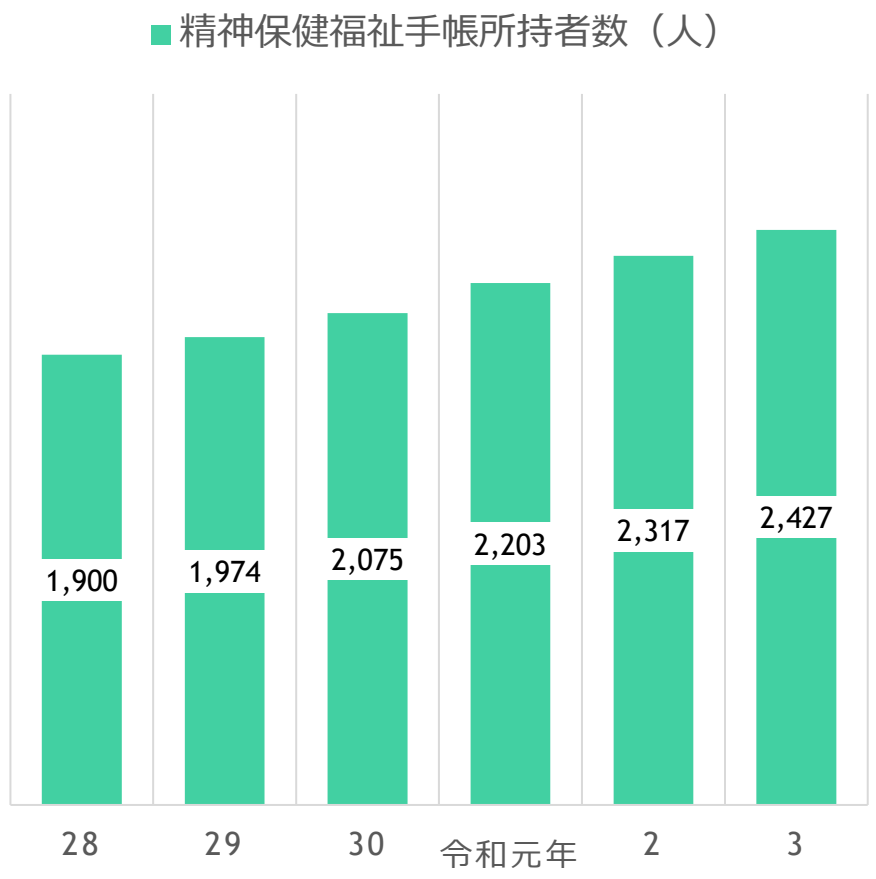
障害者総合支援法における精神障害者・難病患者に対する福祉サービスの支給決定

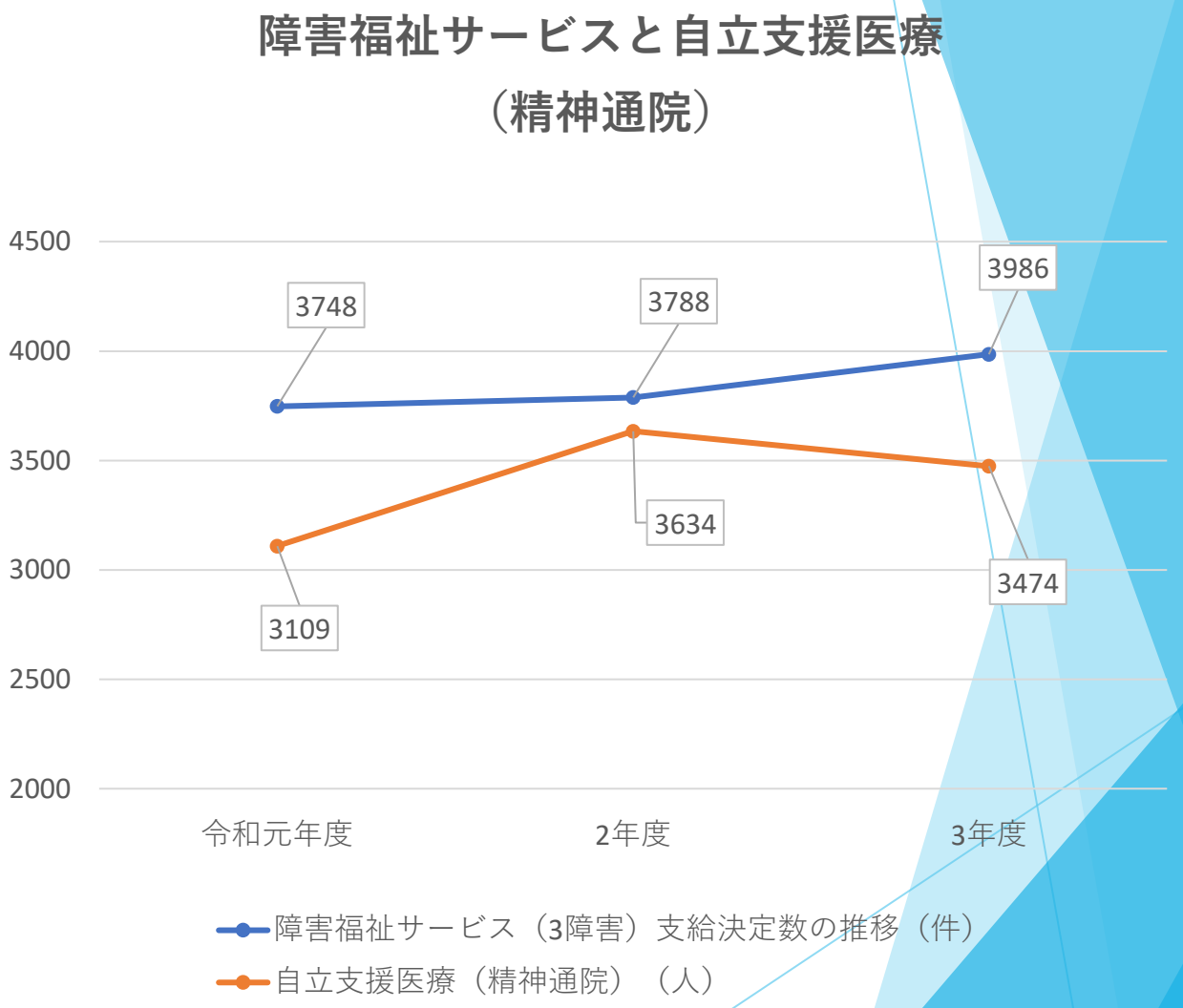
左京区における健康課題（障害保健福祉）

- 　日本で始めて精神科医療が発祥したとされる病院や、歴史的に精神科療養の地となった地域（洛北）があり、古くから精神科医療が発展していた。区内に精神科の通院や入院できる病院は6箇所あり市内で一番多く、また日中の活動を支援する医療・福祉関係事業所も多く、心の病のある人に関係する社会資源が豊かである。
- 　自立支援医療（精神通院）利用者、精神障害者保健福祉手帳所持者は増加傾向（グラフ参照）で、精神保健福祉手帳の等級の１級所持者の割合が全区役所・支所中1位である。
- 　障害福祉サービスの利用者は増加しており（グラフ参照）、豊かな支援環境の中で、必要な制度やサービスにつながる個別支援のための連携に取り組めていると思われる。

■　北部障害者地域生活自立支援協議会や左京こころのふれあいネットワーク活動など、保健協議会連合会・民生児童委員会等の地域役員や関係機関との連携に重きを置き、イベント・研修会の開催等において、普及啓発や顔の見える関係づくりを目指し、切れ目のない支援につなげていく。

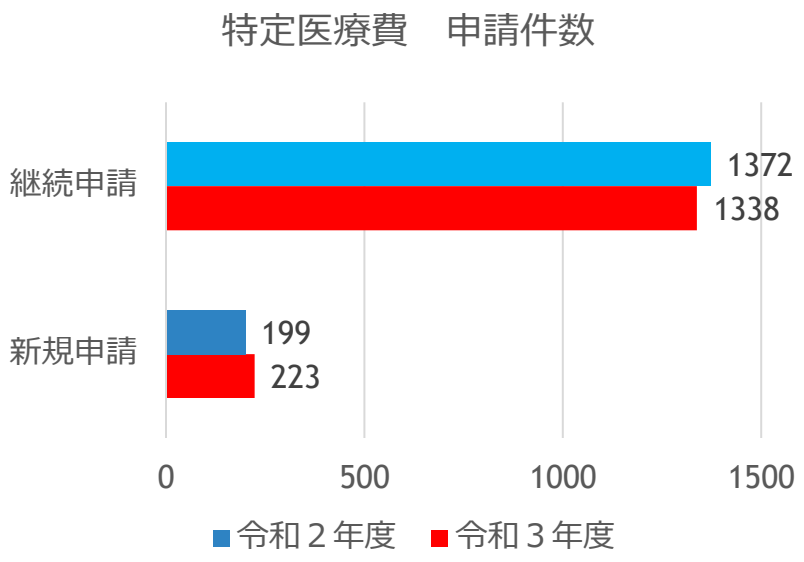
グラフ（精神保健福祉関連）

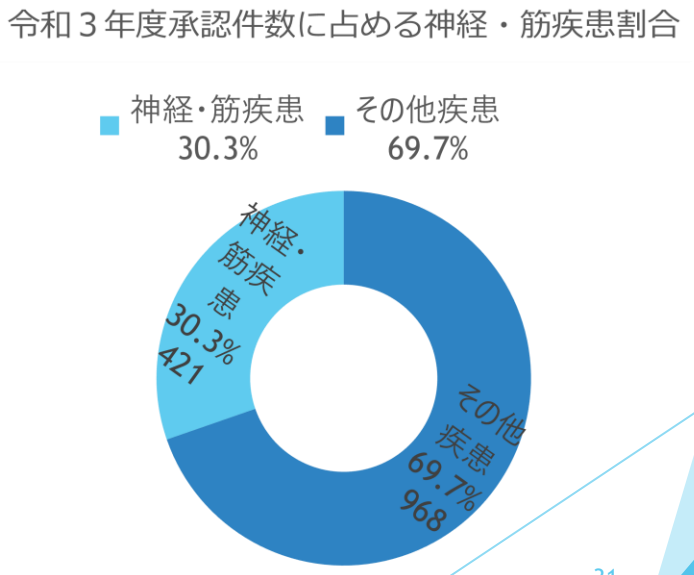




難病患者支援

- 指定難病で認定基準を満たす場合、特定医療費支給認定制度を利用することができる。指定難病は希少で難治性進行性であり、本人家族の不安や負担が大きいものが多い。そこで、新規申請時に神経・筋疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、ＡＬＳなど）の場合には保健師が面接し今後のフォローを行っている。





取組事業

左京こころのふれあいネットワーク

- 「こころの病がある人も、そうでない人も、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らしたい」そのような思いを理念として、医療機関や福祉サービス事業所、ボランティアグループ、家族会、行政、教育、公的機関など幅広い団体により構成されたネットワークです。セミナー、ビジュアルマップ、心ときめき芸術祭、卓球大会等に取り組んでいます。
- 令和4年度の「第28回心ときめき芸術祭」は、区役所から飛び出して、洛北阪急スクエアで開催予定！

子どもはぐくみ室の業務

母子保健

- 母子健康手帳の交付
- こんにちはプレママ事業

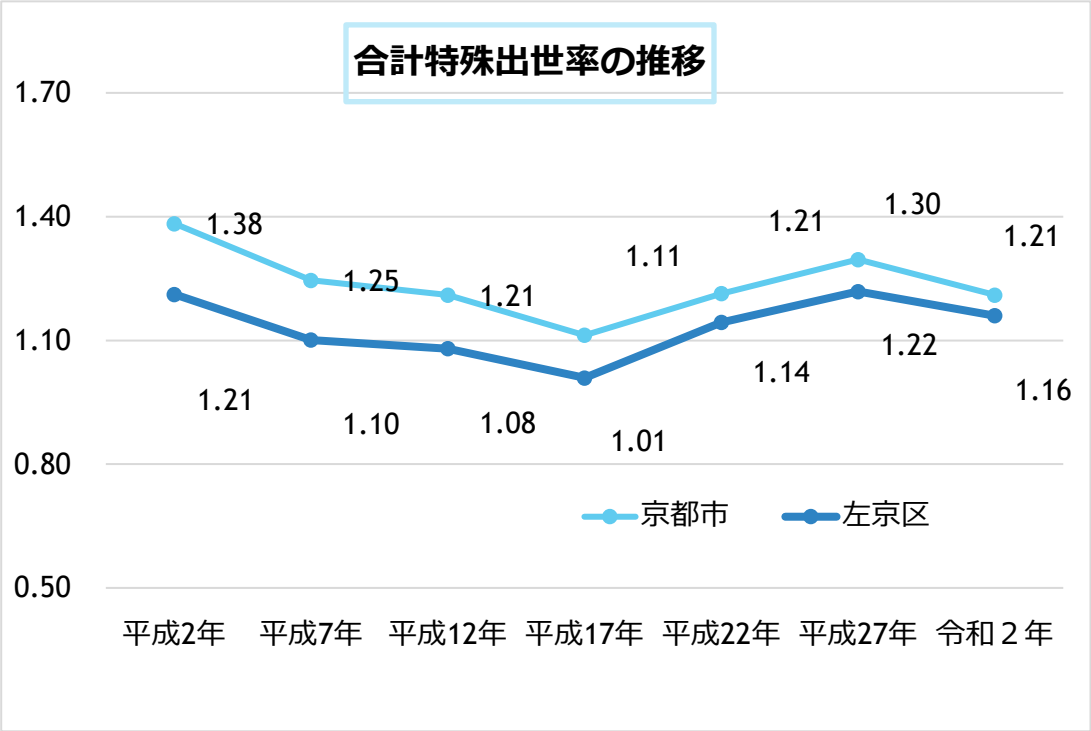
  初妊婦や双児等継続した支援が必要な妊婦に対する支援
- 新生児等訪問指導（こんにちは赤ちゃん事業）
- 乳幼児健康診査

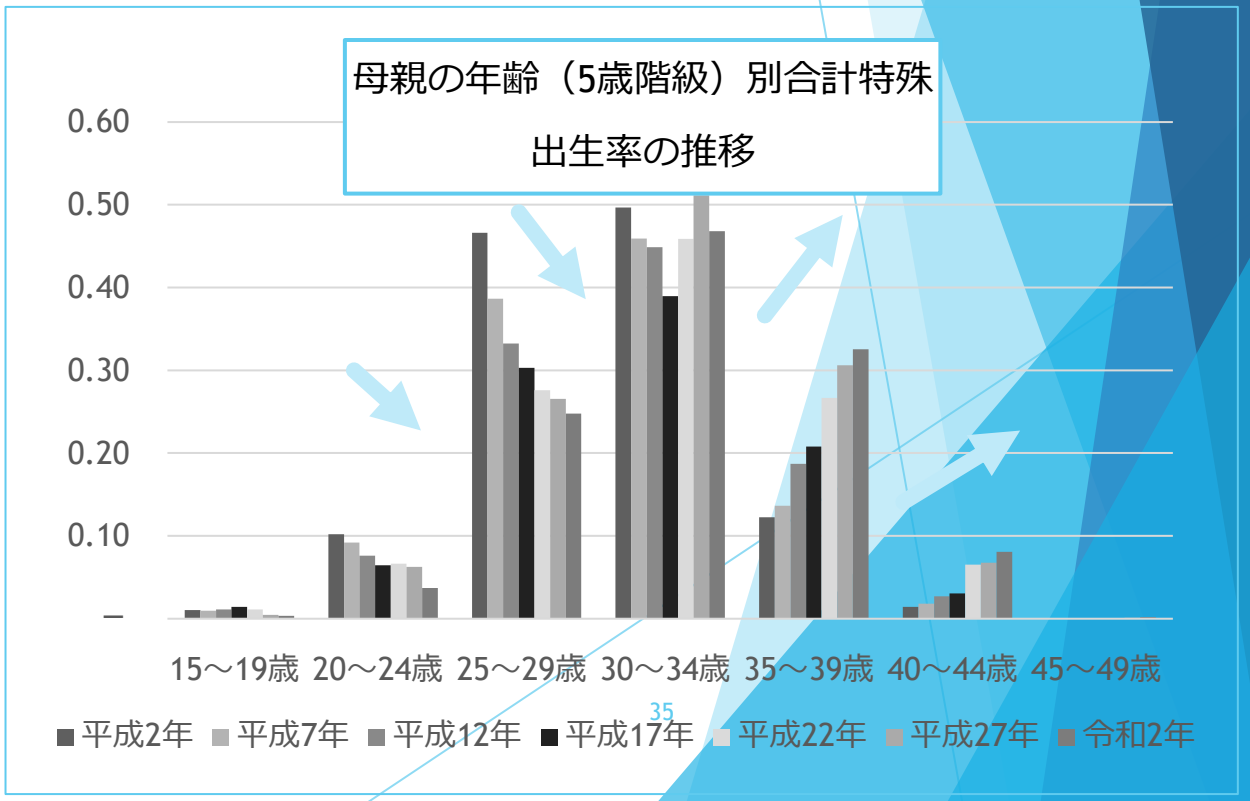
  （4か月児、8か月児,1歳6か月児,3歳児（現在３歳９か月））
- 訪問指導（育児支援、母子保健に関する家庭訪問指導）

  ＊訪問以外にも電話・面談などで子育てに関する各種相談対応
- 親子の健康づくり講座（プレママ・パパ教室含む）
- 親子すこやか教室
- 予防接種
- スマイルママ・ほっと事業（産後ケア事業）、子育て支援短期利用事業などの育児支援施策の調整

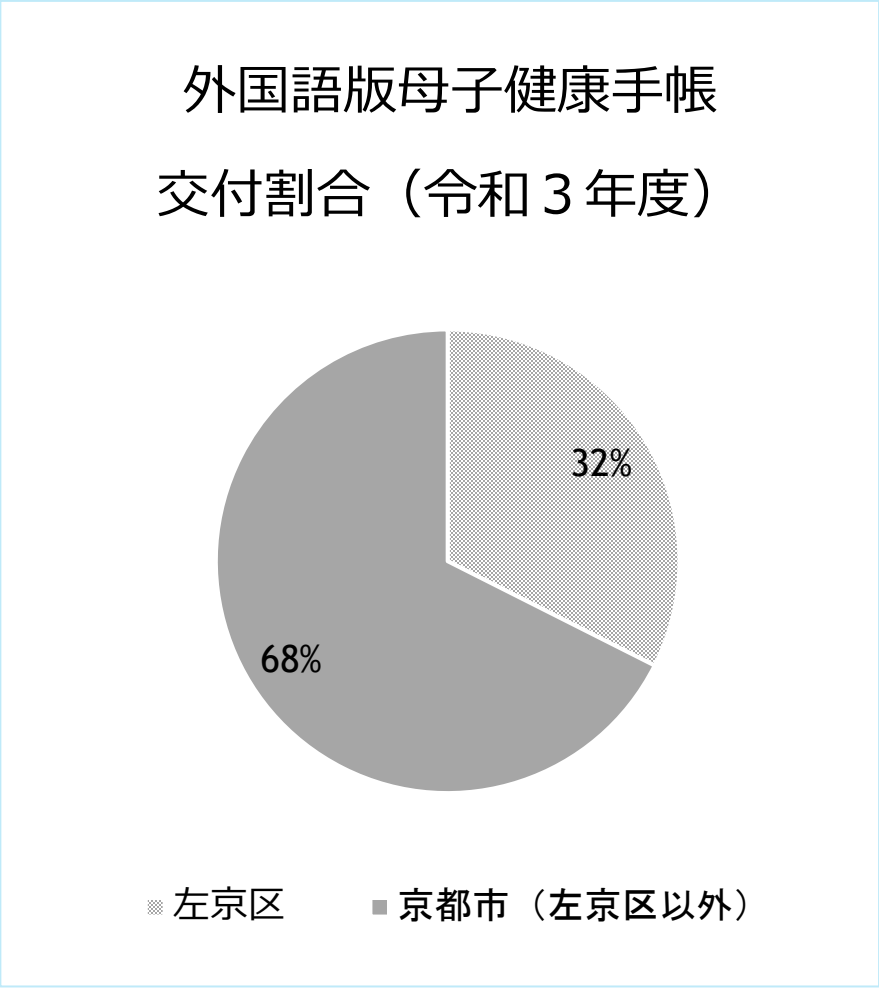
左京区における健康課題（母子保健）

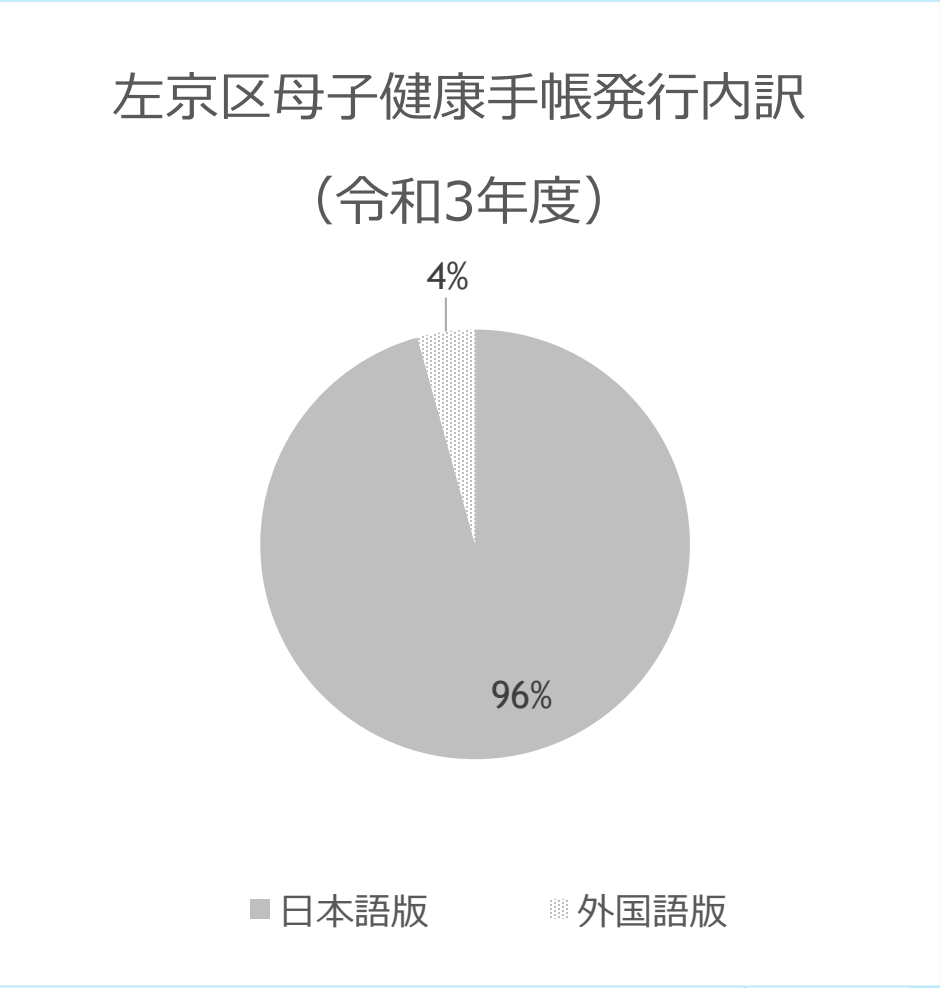
- 合計特殊出生率は横ばい。40代は微増傾向にある。
- 出産年齢は他区と比較して若干年齢が上がってきている。
- 外国籍の方が妊娠・出産・育児をすることが他区に比べて多い。
（京都市で交付する母子健康手帳のうち外国語版は1.２％。左京区では、4.5%に交付。
京都市で交付する外国語版母子健康手帳のうち３２％が左京区（令和３年度））





グラフ（母子保健関連）


外国語版母子健康手帳
交付割合（令和３年度）
32%
68%
左京区
京都市（左京区以外）


左京区母子健康手帳発行内訳
（令和3年度）
4%
96%
日本語版
外国語版

取組事業

○ ようこそお母さん・お父さん～左京の子育て応援します～

〈取組内容〉

・各学区民生児童委員協議会と連携し、気軽に育児の相談ができる体制を構築するため、子育てに役立つ情報を家庭訪問で提供。区内全ての学区で実施している。
利用を希望された家庭数：２８９件（令和３年度）

・事業に係る補助金を申請された学区の民生児童委員協議会に交付
補助金の交付実績　　：２０学区の民生児童委員協議会

〈取組の効果〉

・希望家庭に対し、子育て情報（はぐくみだより等）を自宅に届けることで、コロナ禍で自宅に閉じこもりがちな子育て家庭が地域の子育てサロンや児童館の利用に繋がることが多く、地域資源との橋渡しになっている。

・各学区民生児童委員協議会などで運営される子育てサロンでは、子育て家庭同士の交流のきっかけにもなっている。各学区の民生児童委員協議会の取組が、子育て家庭の孤立を防ぐことにも繋がっている。

「ようこそお母さん・お父さん　～左京の子育て応援します～」
ご案内

主催：左京区民生児童委員会

お近くの民生児童委員・主任児童委員が左京区内の子育て支援情報をお届けします。

子育て支援情報を希望される方は…

① ハガキに必要事項を記入して，ポストへ投かん

② お近くの民生児童委員・主任児童委員から連絡があります。

③ 左京はぐくみだより，児童館だよりや子育てサロンちらしなどをお届けします。

※　収集した個人情報は本事業に必要な範囲内で適正に取り扱います。また本事業の目的以外に利用することはありません。

いっしょにあそぼう！まってるよ！

民生児童委員・主任児童委員は、こんな活動をしています。

1　地域の子どもが元気に安心して暮らせるよう見守り，お母さんやお父さんたちが抱える子育ての不安や心配ごとなどの相談や支援を行っています。
2　地域の福祉制度や子育て支援の情報をご紹介します。
3　必要に応じて関係機関との「つなぎ役」になります。
4　子育てを応援するために，子育てサロンや子育て支援事業のお手伝いをしています。

※　民生児童委員・主任児童委員は厚生労働大臣から委嘱された特別職の地方公務員です。個人の人格を尊重し，秘密を守ることが法律で義務付けられていますので，子育て等で不安なことや心配なことなど，安心してご相談下さい。

お問合せ先	〒606－8511　左京区松ケ崎堂ノ上町７番地の２ 左京区役所保健福祉センター子どもはぐくみ室子育て相談担当 （TEL：075－702－1222　FAX：075－791－9619）